



宮崎漁協の一番の自慢は、鮮度の高い高品質のチリメンです。獲れたチリメンは宮崎漁協に所属する「もの」の加工場で高い鮮度を保つために短時間のうちに加工処理され、天日で乾燥し製品化されます。こうして出来た無添加・天日干しの「宮崎ちりめん」は主に京阪神市場、遠くは関東の市場に出荷され、市場において日本との高い評価を得ています。

一年を通じて行われているチリメン漁は、夏が七時、冬は七時半頃一斉に出漁し、南は木花、北時

は「瀬川河口、沖は黒潮本流の手前まで」という漁場に向かいます。鮮度をいかに保つかが勝負です。船の速度が上がつて港までの時間が短縮されたことや、釜の温度が調整できるようになったことなど、スピードアップし、チリメンのさらなる品質向上を実現しました。

### スピードが命の天日干し

漁から加工まで一貫した作業で鮮度の低下を防ぐ。早ければ水揚げから5分後には釜の中で、その後は天日干しを行う。



### 加工場ごとに異なる味わい

十一ある加工場が、それぞれのノウハウで加工する。販路も各自が開拓しそれが持ち味となっている。



### ちりめん漁

漁は2隻のもやい船と、探索も行う運搬船1隻で「統(とう)」を構成。目の細かい網を2隻でひっぱる機船曳網漁で行う。

### 「日本一」の天日干しちりめん

# 宮崎

みやざき



MIYAZAKI

### data —



- 設立
- 主な漁獲内容
- 主な漁獲方法
- 年間漁獲量
- 年間水揚高
- お問い合わせ

昭和42年4月1日(旧赤江漁協、赤江灘漁協の合併による)

チリメン、マグロ、サワラ

機船曳網、まぐろ延縄、刺網、磯建網

1,430t(平成21年度)

5億4,864万5千円

〒880-0858 宮崎市港1丁目9番地

TEL.0985-29-7171 FAX.0985-29-7197

E-mail jf-miyazaki@dolphin.ocn.ne.jp

URL <http://www.jf-m.jp/>

